

①平成 30 年 4 月号


公共交通の事業者さんにお話を聞くと、利用者の中には、とても上手に公共交通を利用されている方がおられるとのことでした。そういう方は、何時の便に乗って〇〇で降りて、△△行きに乗り換えて…というふうに、上手に利用されるそうです。

時刻表を眺めるのが好きだという人もいれば、逆に時刻表を見るのも面倒という人もいます。

あまり時刻表を見るのが得意ではないという方は、まず周りに時刻表を見るのが得意という人を探してみるのも良いでしょう。

周りの人に聞いたり、自分で「公共交通マップ」などで調べてみたりして、自分が使う便が分かったら、それを書き留めて、自分専用の「マイ時刻表」を作ってみてください。

そうすれば、例えば「病院に行くときはこのバスで」とか「買物に行くときはこれに乗って」とい



**もっと知りたい！**  
「いつきょろいつきょろ」  
公共交通を上手に使うコツ

vol. 9



う感じで、使いやすくなると思えますよ。

また、パソコンやスマートフォンをご利用でしたら、「江田島市路線検索」というサイトで、バスのダイヤを検索することができますので、ご利用ください。

※今後、3カ月に1回連載していきます。

問企画振興課  
☎ (43) 1630

②平成 30 年 8 月号

公共交通で行く！えたじまのうみ島めぐり

ワンマンバスとハイキングの組み合わせ

河と島を結ぶ谷からハイキング

カマン島-古淵山

【バス】 13:45 出発 15:00 到着  
時間 01時間15分 運賃 片道 1890円

大崎5分前	出発時刻13:40	駅名
バス(大崎駅前発 江田島市役所前経由 小用行)		49分
小用10分	到着時刻14:19	駅名
徒歩		
小用10分前	出発時刻14:07	駅名
高瀬(小用行経由 江島行)		64分
江島	到着時刻15:00	駅名


皆さん、最近「バス」や「船」に乗りましたか？

今、地方都市を中心に公共交通の利用者が減少しています。

公共交通機関は、いつも乗れない方にとっては、非常に分かりにくいものです。特に土地勘がない方にとっては、利用すること自体、不安に感じます。

そこで、公共交通機関を利用した島めぐりプランを市ホームページで紹介しています。

広島市と呉市を発着し、シーサイド温泉のうみやハイキング、浜辺散策などを満喫できるプランなど、ここでは、利用者の不安を少



**もっと知りたい！**  
「いつきょろいつきょろ」  
公共交通を利用した島めぐり

vol.10

公共交通で行く！えたじまのうみ島めぐり

ワンマンバスとハイキングの組み合わせ

ロマンチックな夕日や伝説

サンビーチの夕日

【バス】 13:45 出発 15:00 到着  
時間 01時間15分 運賃 片道 1890円

広島	13:45	15:00	江島
広島	13:45	15:00	江島

でも取り除いた、公共交通機関による、ゆったりとした日帰りの旅を提案しています。

山間地域や海沿いのまちを走る路線バスは絵になりますが、それ以上に、人々の生活を支える貴重な足でもあります。まちの活気を維持するためにも、公共交通の存続は絶対に必要です。

本市を観光する知り合いの方へ紹介したり、普段バスや船に乗らないという市民の皆さんも、このプランを参考に、時々バスや船を利用してみるのはいかがでしょうか？見慣れたまちの意外な風景を発見できるかもしれませんよ。


問企画振興課  
☎ (43) 1630

詳しくは市ホームページをご覧ください。

えたじま のうみ 島めぐり  検索



③平成 30 年 11 月号



もっと知りたい！  
「みんぱく」のバスと船  
出前講座の紹介

vol.11

船は、広島市や呉市に行くときの、とても便利な乗り物です。

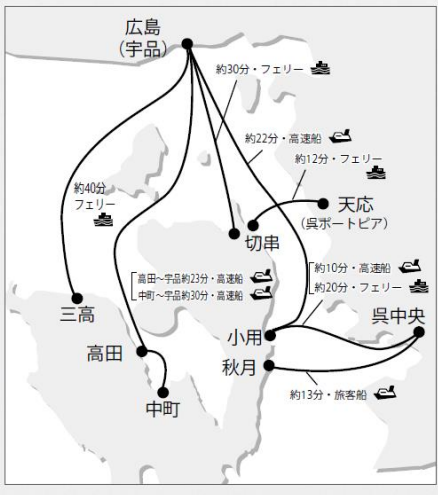
7月の豪雨災害では、道路や鉄道が使えなくなっても、船で移動することができたので、多くの人が助かりました。私たちの生活にとって、船によって島と本土を結ぶ海の道、航路はとても大事なもののなのです。

現在、本市では、7つの港を拠点に、1日に約130便の船が運航しています。

これだけ多くの便があり、しかも夜遅くまで運航しているのは、全国でもとても珍しいことです。

人口が減り、航路の利用者も減る中、これだけ多くの航路を維持することは、簡単なことではありません。

航路事業者は、船を走らせるとき、なるべく燃料の消費が少ないように、スピードを細かく工




夫したり、船の大きさを考えたり、細かいところまでしっかりと考え、限界まで無駄な費用がかからないように努力しています。

しかし、船の燃料代は年々高くなり、船の修理代もとても高いので、航路を利用する人が少ないと、経営は厳しくなります。

便利だけでなく、いざというときにも役に立つ、大事な航路。なくなると困ってしまいます。これからも、快適に船を利用するために、積極的に利用し、みんなで守っていく必要があります。

問企画振興課  
☎ (43) 1630

④平成 31 年 2 月号



もっと知りたい！  
「みんぱく」のバスと船  
出前講座の紹介

vol.12

本市の公共交通として、船やバスが走っているのは、ほとんどの方が知っているでしょう。しかし、「おれんじ号」については、知らない方が多いのではないのでしょうか。

今回は、市の公共交通の現状などについて紹介する、「みんなで守るバスと船」と題した「まちづくり出前講座」を紹介します。

「まちづくり出前講座」は、市職員が市民の皆さんのもとへ出向き、市が取り組んでいることなどを分かりやすく説明する講座です。20〜30分程度のミニ講座となっていて、最近の公共交通に関する講座では、「おれんじ号」に関する内容が多い傾向です。

また、公共交通以外の他の講座との組み合わせも可能ですので、お気軽にお問い合わせください。

申込方法 実施希望日の3週間前までに、企画振興課に申込書を提出(電話予約も可)。

※申込書は、市ホームページに掲載しています。



申込対象者 市内在住・勤務・在学の団体または市民グループ(5人以上で一般グループも可)

料金・会場 職員の派遣料は無料。会場の手配や準備、会場借上げなどの費用は、申込者の負担となります。なお、会場は、江田島市内に限ります(個人住宅は不可)。

問企画振興課  
☎ (43) 1630